



ながす議会だより No.138

潮がい



令和元年 第2回(6月)定例会

一般会計補正予算等

②～④

一般質問 11人が登壇し町政を問う

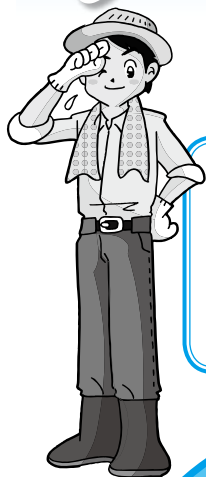
⑤～⑮

子育て支援センター「にこにこ」
～ プール開放 ～

強い農業・担い手づくり応援

令和元年

第2回(6月)定例会



6月定例会は、6月17日から21日までの5日間の会期で開催した。
承認2件・議案14件・報告2件・諮問2件を審議し、全て原案のと
おり可決した。

一般質問は、11議員が行い、町政全般を質した。



**強い農業
づくり支援事業費
補助金**
1億4580万円

消費税率の
引き上げに伴う
低所得者に対する介護保険料
負担軽減措置
1256万円

「海辺の
金魚のまち」事業
委託料
397万円

プレミアム付
商品券交付金事業
1億1090万円

消防団
資機材整備事業
(エンジンチェーンソー配備)
112万円

下東区
ワイヤレス放送
システム整備
250万円

危険
ブロック塀等
除去事業補助金
200万円

庁舎議場
アスベスト
除去事業
5274万円

長洲中学校
食育研究事業
30万円

一般会計補正予算
3億2542万円

一般会計

補正予算(質疑)

問 (前田議員)

消防費にチエーンソー購入とあるが、公役等の貸し出しはできるか。

答 (総務課長)

現時点では、公役等への貸し出しは想定していない。

問 (福本議員)

幼児教育無償化によるシステム改修委託とは。

答 (子育て支援課長)

本年10月から始まる幼児教育一部無償化の実施に当たり、事務及びシステム改修に要する委託である。

問 (大森議員)

アスベスト除去工事中、飛散の恐れはないか。

答 (総務課長)

専門業者が施工するため心配はないと思う。

問 (竹本議員)

強い農業づくり支援事業費補助金の使途及び雇用計画は。

答 (農林水産課長)

丸トマトハウスの施設の新設。常時雇用5人、臨時雇用8人で計画されている。

問 (荒木議員)

海辺の金魚のまちの主要事業は何か。

答 (まちづくり課長)

ウォーキングコース等を作るための看板のデザイン、案内等など。ワークショップや金魚と招き猫展の開催が主な事業である。

問 (中川議員)

条件付き一般競争入札の条件付きとは。

答 (総務課長)

総合評定値が、町内業者は750点以上、荒玉管内の町外業者は900点以上が条件の1つである。

工事請負契約の締結について

問 (福永議員)

総合評定値が町内業者が750点以上、荒玉管内の町外業者が900点以上とあるが、詳しく伺う。

答 (副町長)

荒玉管内で9社、町内で3社、計12社であり、公平な競争ができると思った。しかし、応札は、3社であった。今後、透明性、公平性を考慮し対応する。

問 (磯野議員)

町内の対象業者数と応札数は。

答 (総務課長)

町内の対象業者は3社で、すべて応札されている。



専決処分

税条例等の改正

【内容】

地方税法等の一部改正の為

平成31年4月1日

施行

国民健康保険税条例の改正

【内容】

地方税法施行令が改正された為

平成31年4月1日

施行

条例の改正等

附属機関設置条例の改正

【内容】

町営住宅に関する検討委員会を附属機関に位置づけし、委員の報酬及び費用弁償の追加。

災害弔慰金の支給等に関する条例の改正

【内容】

貸付利率 年3%

← 年1.5%等

介護保険条例の改正

【内容】

上位法の改正により、介護保険料負担軽減措置が強化される為。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

【内容】

令和元年10月1日から、し尿汲取手数料を外税から内税とし、値下げをする。

1ℓあたり12・6円

← 12・1円

問 (福永議員)

値下げで手数料歳入はどれだけ減るのか。

答 (住民環境課長)

年間約75万円ほど歳入減となる。

下水道条例の改正

【内容】

使用料と消費税を分離し、明確にするため。

問 (大森議員)

内税から外税方式にするのか。

答 (下水道課長)

消費税10%になるにあたり、外税方式にして金額を明確にする。

浄化槽施設整備事業に関する条例の改正

【内容】

浄化槽施設使用料と消費税を分離し、明確にするため。

水道給水条例の改正

【内容】

水道料金と消費税を分離し、明確にするため。



令和元年10月1日



菊川 泰優氏
(大明神区)

令和元年10月1日



山内 順子氏
(高田区)

人権擁護委員

人事案件

住民の交通災害見舞金の事務から合志市が脱退。

【内容】

市町村総合事務組合の事務の変更

条の改正の為。

【内容】

水道法施行規則第9

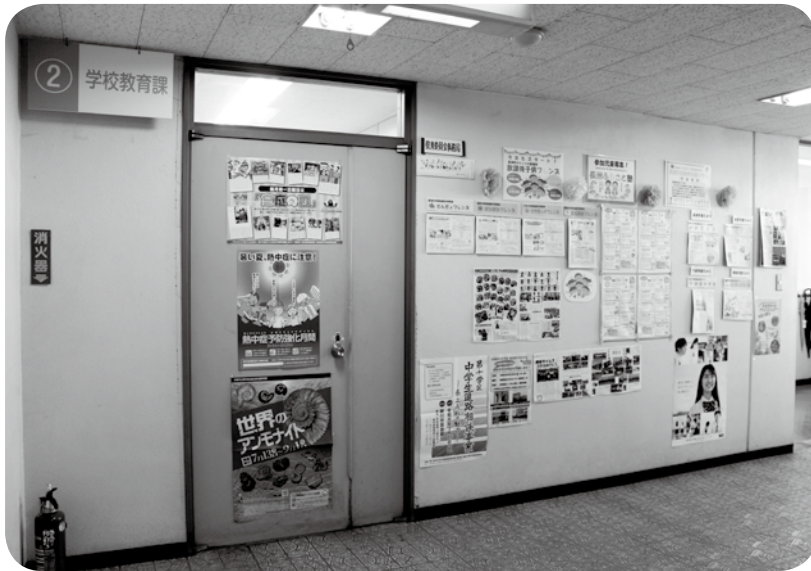
水道事業布設工事監督者の配置基準等に関する条例の改正

審議結果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…× 欠(退)席…欠

*議長は表決に加わりません。

議案番号	件 名	前田美和子	中川 雅明	福本みや子	大森 秀久	竹本 信次	荒木 睦子	磯野 博	浦邊 朝章	宮本哲太郎	濱村 芳光	福永 栄助	松井 一也	濱崎 久	徳永 範昭
承認第4号	長洲町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第5号	長洲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	長洲町附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	長洲町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	長洲町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	長洲町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	長洲町下水道条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号	長洲町浄化槽施設整備事業に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	長洲町水道給水条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	長洲町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	令和元年度長洲町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	令和元年度長洲町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	令和元年度長洲町水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	令和元年度長洲町下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第1号	平成30年度長洲町一般会計繰越明許費の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第2号	平成30年度長洲町下水道事業会計予算繰越しの報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



なぜ大人は動かない？(動けない?)



磯野 博議員

免許外教科担任、学校規模適正化等、本町の現状は

答 厳しい現状を突きつけられている

問 本町の各小中学校ではさまざまな課題を抱えていると思う。

免許外教科担任、学校規模適正化等、本町の現状はどうか。今後の

見通しは。解消に取り組む考えは。

答 (教育長) 教職員は、教科に応じた免許状を持っていないなければならないのが教育免許制度の原則。しかし、本町では腹栄中と長洲中で免許外教科担任となつてい

る。解消に向けた取り組みは、非常勤職員の派遣など県教育委員会へ要望していききたい。学校規模適正化は、小

中学級数の標準は12学級以上18学級以下を標準とする。本年度の各小中学校学級数は

六栄小 9学級
腹赤小 6学級
長洲小 7学級
清里小 6学級
腹栄中 6学級
長洲中 6学級

標準数を下回るものとなっている。今後の見通しは学級数は現状維持が予想される。

問 この状況は仕方ないのか。であれば教育地域格差でないか。子どもの可能性を潰しているのであれば、我々大人の責任だ。この件は町民全員に共有する必要のある重要な問題だ。予算化して解消に取り組む必要があるのでは。

答 (教育長) 免許外教科担任の解消は、本町の教育の大きな課題と私も捉えている。長いこと国に対して要望している。今後、本町の中学校の教育をどうあるべきかはまちづくりとも大きく関係してくるので、

中学校統廃合は町民全体で議論する時期だ

答 丁重な議論が望まれていると思う

問 我が町小中学校の規模は。

答 (学校教育課長) 全小中学校6校とも小規模校に該当する。

問 小規模校の問題は。

答 (教育長) 免許外教科担任に関係する。他に部活動の指導者不足、人数不足等。デメリットの部分もあるが、小規模のメリットもある。

教育委員会だけの意見でなく、今後は議論の場

を設けていくのは大切なことだと受けとめる。

問 学校管理職から小規模校運営は。

答 (教育長) 中学校6学級が一番厳しかったと思う。過去に財政面から中学校統廃合を提案したが、今回は小規模校の教育指導上の問題から再度、中学校統廃合を提案する。

答 (教育長) 本町の教育はどうあるべきか、さらに検討して町にも提案していきたい。



浦邊朝章議員

大雨による、河川氾濫や浸水対策は

答増水時は排水機場で強制排水をとる

問 梅雨時、台風時の河川の氾濫や家屋への浸水やがけ崩れ等への対策は十分か。

答 (町長)
河川氾濫等に対しては、職員でのパトロール、樋門操作や排水

機場での強制排水を行っている。がけ崩れ等に対しては、土砂災害特別警戒区域を指定、そこに住まれている方に

移転費用補助制度と災害発生時の対処について説明を行っている。

問 防災情報は、どのように活用されているか。

答 (総務課長)
気象に関する様々な情報や県からの防災情報メール等を対策会議で共有し、避難勧告等の発令の判断に活かしている。



着々と完成しつつある地域優良賃貸住宅

問 台風や高潮時の海岸堤防の安全性は県への要望は。

答 (建設課長)
県には堤防のかさ上げや陸こうゲートの新設等度々要望している。排水路には逆流防止のフラップゲートが有効であり、主要な個所には設置されている。

問 定住化対策、町の現況と計画の推移について伺う。

答 (町長)
既存住宅のリフォーム補助や町内への移住支援事業にも取り組んでいる。現在、長洲



台風・高潮時は波が越えてくる恐れあり

問 防災計画と地元住民への避難指示について伺う。

答 (町長)
住民を災害から守

問 現在189戸中165戸入居中である宮野地域優良賃貸住宅の入居状況は

答 (まちづくり課長)
生活道路や水路等のインフラ整備を今行っているところである。規制等の緩和については、今後検討、協議を行っていききたい。



濱村芳光議員

交通安全対策上、歩道の整備を

答 危険性を考慮し順次進める

問 向野区内町道塩屋・赤崎線マルエイ六栄店横丁型交差点は、歩道がないため子どもは危険にさらされて通学している。歩道

の整備と子どもたちを守るためのコンクリートづくり防護壁が必要では。

答 (町長) 町内の登下校時の安全対策については、危険箇所の点検を行っており、危険性を考慮し歩道整備を順次進める。

答 (建設課長) 歩行者を守るための防護壁の設置については用地も必要になる。今後調査する。

問 交差点で一旦停止をしない車が多い。信号機の設置が必要では。

答 (総務課長) 信号機の設置については、現在の状況では厳しい。

問 健康福祉センターが老朽化して危険で不便、全体的な改修が必要では。

答 (町長) 洗い場の床、及び蛇口については補修した。全体的な改修については、利用者の状況や財政状況を踏まえ検討する。



改修が待たれるトイレ

六栄小体育館にトイレ設置を

答 多目的トイレを検討する

問 六栄小学校体育館の駐車場に設置したあるトイレは、老朽化して不便である。体育館と外部からの利用が可能なトイレの設置を。

答 (教育長) 体育館の中に設けたほうがいいか、隣接するような外から、また体育館の中から入れるような、トイレがないか協議を進めている。



さあ、渡りましょう



福永栄助議員

財務書類（公会計のデータ）を活用したのか

答 公共施設等総合管理計画に基づく総量縮減を検討している

問 総務省は、「地方公会計の活用のある方に関する研究会報告書」を公表し、自治体財務施策の公会計の

データを活用すること求めた。28年度の一般会計等の行政コスト計算書と純資産変動計算書の分析説明を次年

度に対応されたか伺う。

答 （町長） 純行政コストは約57億2400万円、住民一人当たりの行政コストは35万5000円である。純資産が2億2800万円減少している。これは、純行政コストを税収、国・県補助金で賄うことができず、将来世代が利用可能な資源を使用したことを表わしている。

問 行政コスト対財源比率が28年度104%、29年度が106.5%と数字に表われている。100%か、それ以下に押さえるべき、賄うことができたのは、23年度と27年度だけである。そもそもこの財務書類の作成の

根拠は行政改革推進法によるものではなかったのか。行政改革をやリなさいという事ではないのか。

答 （町長） 10年後も大丈夫だ

中期財政計画の改訂の理由とその内容の違い

答 計画期間を

令和5年度まで引き直した

問 平成28年に作成された中期財政計画が1年4カ月後の平成30年12月に改訂版を出した。改訂に至った理由・計画の内容・違いを伺う。

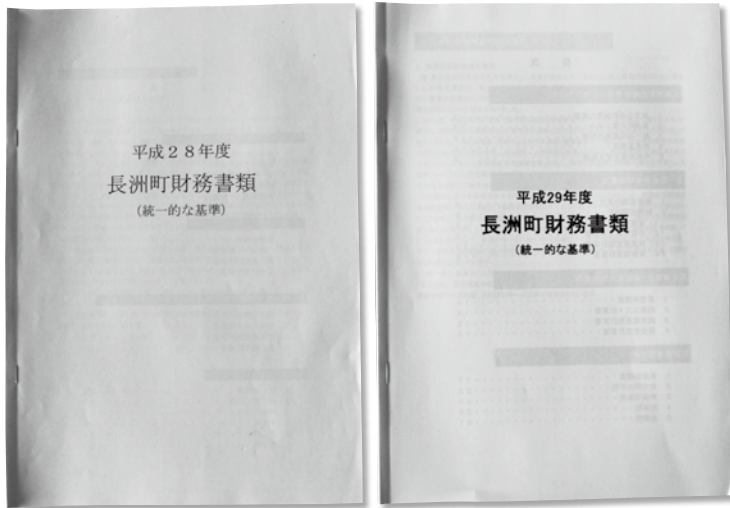
答 （町長） 中期財政計画は、第5次長洲町総合振興計画の実現性を高める

ため、計画期間の財政収支の見通しを試算し策定した。しかしながら、環境も変化しており、その情勢を的確に反映し、計画期間を令和5年度まで引き直し改定した。

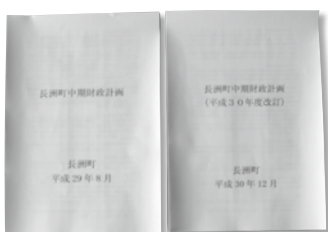
問 令和2年度が総合振興計画の最終年度だ。前の財政計画で

と云えるような予算編成をやっていくことになったのか。計画を立てたのは、財務書類を一つの参考として進めていかなければならないと感じている。

は、数値目標が達成できないので、計画期間を3年間延長したのではない。計画を立てたら、計画どおり実行すべきだ。その上で、まずは単年度の収支を改善すべきだ。今までの分を考えれば、実質収支比率を5%以上、2億円以上残す様な財政運営をしていく。そうしなければ今後の財政需要に対応できない。



財務書類の分析(データ)を予算編成等へ



計画書どおり実行すべきだ



長洲町観光物産館



濱崎 久議員

長洲中学校の暴力事件について誠実な答弁を求める 答 司法の場で係争中の事案であり答弁を控える

問 アンケートも記録もないと言う今までの答弁の信憑性が疑われる。ないとされていたアンケートの類が、校長のパソコンから見されたと新聞報道さ

答 (学校教育課長) 学校の校長室から発見された。学校で保管・管理されていたものではなく、意図的に

れた。隠蔽していたのか。

問 校長の公共のパソコンから発見されたものは、当時の校長が書いた記録として裁判に証拠提出しているではないか。

答 (学校教育課長) 申し訳ない。裁判へ判断を委ねた。

問 7年経って、ようやく校長のパソコンから出てきたものを証拠書類として裁判所に出したのは、アンケートも記録もないと言う答弁は通用しない。

答 (学校教育課長) 係争中で判断を委ねている状況だ。

問 アンケートの実態は日常的に暴力行為が存在し、教師が危険を予見し、回避する注意義務を怠っていた

実態を生徒達が記載しているのではないか。

答 (学校教育課長) それ自体が裁判において争点になっており、司法の判断に任せている。

問 このことは、新聞報道で暴露されるまで議会説明などない町の教育委員会も含め、こぞって隠したのか。

答 (学校教育課長) 議会へは、陳謝して説明した。

火葬場道路

答 今年度する

問 遅れている。いつ改修完了するのか。

答 (町長) 今年度工事の完了を目指す。



4分団格納庫入口付近の状況

4分団進入路拡張

答 用地取得を行う

問 消防格納庫進入路を拡張して、背後地の住民の利便も図るべきではないか。

答 (町長) 一日も早く道路拡張ができるよう努力する。

ゴミ収集車不正

答 非難される

問 永方区築地公園フエンスに当て逃げして、放置した事件について説明を求める。

答 (町長) 町委託業者より、事故発生及びその後の不適切な対応について陳謝されたので口頭で注意をした。

問 バレなければいいという社風をどうとらえているか。

答 (住民環境課長) 不適切な処置をとったということについては、当然非難されてしかるべきだと思う。町の業務については、法律に則って、現在業務を行っている。



前田美和子議員

民生委員は国の制度だが、なり手不足である。現状認識は 答地域の連携において負担軽減を図っていく

問 地域の見守り役として民生委員は重要であるが、担い手不足の為、区長が兼任し

ているところがある。現状は。

答 (福祉保健介護課長) 現在は、全

国的な問題となっている。町内では4地区の区長が兼務している状態であるが、別々の方が役割を担う形が理想である。

問 現在、民生委員の数は37名であるが妥当か。

答 (福祉保健介護課長) 世帯数の多い所は2名配置、又、少ない地区は、2〜3地区に1名配置しており妥当である。

問 平均年齢は何歳か。

答 (福祉保健介護課長) 平均年齢は68歳であるが、企業の70歳までの雇用が進む中、今後ますます民生委員のなり手不足が想定される。

問 核家族化、高齢化と業務は多様化し

ている上、その責務は重い。ボランティア活動に頼っているが支援が必要では。

答 (福祉保健介護課長) 制度改革があれば

通学路の安全対策は十分か

答 毎年適正なルートを確認している

問 本町の通学路におけるブロック塀の危険箇所の把握と対策は。

答 (学校教育課長) 昨年7月に調査し

学校、保護者、児童が情報を共有し、注意喚起を図っている。

問 今回の補正予算に危険ブロック塀の解体補助金が計上されているが具体策は。

見直していく。地域の支援、地区社協、シルバーヘルパーとの連携を行い、負担軽減を図っていく。

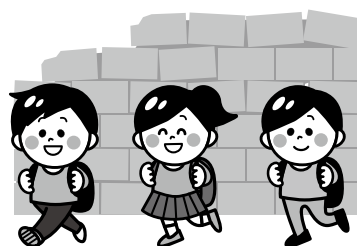
確認している

答 (建設課長) 補助金について、全体的に周知を図る。場合により訪問を行う。

問 各地区に有志を募り、草刈り部隊の結成を促し補助金を出すシステム作りを行っ

たらどうか。これにより通学路の除草や木の伐採も行えるのでは。

答 (建設課長) 公役には、一部補



安全な通学路に!!

助を行っている。今後検討していく。

問 今後、目指す安心安全のまちづくりとは。

答 (町長) 行政だけでは、限度がある。地域や学校、各種団体、民間企業が一体となり共に取り組んでいく。



みんなで美しい花を咲かせましょう♪



中川雅明議員

新制度でふるさと納税は、変わった。町は、今後どう取り組むか

答返礼品、ポータルサイトの拡充で、納税額を増やす

問 ふるさと納税が昨年、2億4000万円と大きく伸びた要因は。

答 (まちづくり課長) ポータルサイト増

設により、寄附窓口が増えた。新規返礼品の増加、寄附者へのPRができたと考える。

問 地方自治体、寄附者にとって有意義

な制度だ。新制度を生かしてどう取り組むか。

答 (まちづくり課長) 自治体間の格差は生じるが、アイデアを出し、寄附を集める工夫に取り組む。

問 新聞、テレビ等に取り上げられ、国民の関心も高い。今はチャンス！町長の考えは。

答 (町長) 地域を活性化させ本町へ寄付して良かったと思える返礼品の用意。又、目標を持ち国の基準内で取り組む。本町出身者による本町に職員が直接出向いてのお願い。県外の方に出す年賀状にお願いシールを作成し片隅に貼ってお知らせをお願いする等、類似

した取り組みは、あったか。

答 (まちづくり課長) 同窓会等には、パンフレット等を配布し呼びかけを実施している。町外者への納税通知書には案内文を印刷

問 新制度により、返礼品数への影響は。

し、周知を図っている。今後、お願いシール等のアイデアを出し進めていく。

問 新制度により、返礼品数への影響は。

答 (まちづくり課長) 新制度前約180

品、新制度約100品。返礼品のお礼状の中に、政策目標の状況、成果は、報告されたか。

答 (まちづくり課長) 現在、報告していない。今後、検討する。

温水プールでの

飛び込み練習は出来ないか

答 原則禁止。しかし競技

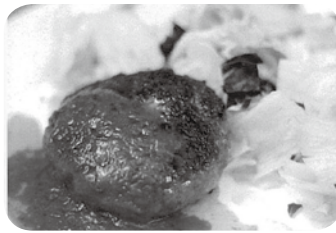
参加者については再度検討

問 毎年郡民体育祭に参加選手は、飛び込み練習が禁止されているため不十分な練習のまま大会に臨んでいるが。

答 (教育長) 原則禁止である。

答 (生涯学習課長)

町代表選手の要望もあり、関係各者と協議する。



ふるさと納税返礼品の一部

な制度だ。新制度を生かしてどう取り組むか。

した取り組みは、あったか。

し、周知を図っている。今後、お願いシール等のアイデアを出し進めていく。

品、新制度約100品。返礼品のお礼状の中に、政策目標の状況、成果は、報告されたか。



熱気あふれる玉名郡民体育祭



福本みや子議員

高齢者の健康増進へのまちづくり戦略は

答 保健事業と介護予防事業を地域ぐるみで推進する

問 厚生労働省の保健医療2035推進シティの指定を受けた。先を見据えた町の健康福祉政策が町民の参画

意識を高め、実を結びつつある。健康寿命を延ばす今後の戦略を伺う。

答 (町長) 高齢化率は上昇し令和7年には37%となる見込みだ。高齢化を見据え健康寿命増進に向け更に力を入れ、生活習慣病の重症化予防など様々な取組みを確実に推進していく。

その他専門職が出向き健康講話も引き続き行う。

問 元氣アップリーダーを各区に広げることが鍵となる。今後の養成をどうするのか。

答 (福祉保健介護課長) 30・40歳代のリーダーも育ってきている。若い世代の参加が増えるよう考えていく。

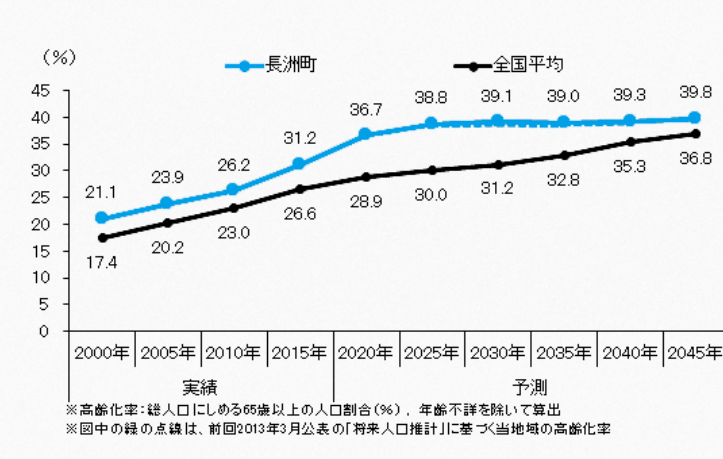
問 後期高齢者の人口割合が令和10年頃にピークを迎える見込みだ。高齢者が病気になる前の保健予防分野での取組みが重要だ。考えを伺う。

答 (福祉保健介護課長) げんきの館で毎月認知症予防料理教室で栄養士や歯科衛生士の講話などを行い、昨年度は延べ93名の参加があった。特定健診の説明会でも栄養指導や口腔嚥下の講話も充実させ実施していく。今後子ども虫歯予防、壮年期の歯周病予防、高齢期の機能低下予防に向けて強化していく。

問 人生百年時代が来ている。先人の知恵や精神や体験経験を教え語り継ぎながら、健康長寿をめざして学ぶ場が必要ではないか。

答 (生涯学習課長) 趣味や特技を持った町民を講師にするために講師養成講座を開き、新たな学びの循環型社会に努めたい。

長洲町の高齢化率の推移



高齢化は確実にすすんでいる
健康寿命はあなたの手で!

答 (福祉保健介護課長) 特定健診、がん検診に加え歯の健康が全身に影響するので成人までの歯科検診なども充実させる。これらは健康ポイント対象事業にもなる。各区の要望に合わせて、保健師や

問 高齢になるとフレイル状態になりやすくなる。現状と今後の取組みの展開を伺う。

答 (福祉保健介護課長) 30・40歳代のリーダーも育ってきている。若い世代の参加が増えるよう考えていく。

*フレイルとは
老化に伴い筋力や認知機能が低下し生活機能障害が高まった状態。

みんなで集って笑って
元氣度アップ!





教育環境の整備で貧困に対応

問 熊本県子どもの生活実態調査集計報告では、町の貧困率16・4%とあるがどのように受けとめているか。

答 (町長) 子どもの貧困率が16・4%と、県平均に比べ高いことが判明し、見えない貧困を数字で可視化できたことは、今回集計を実施したことの意義を感じている。
(※県の平均は15%)



大森秀久議員

町の貧困率16・4%をどう受けとめるか

答 見えない貧困を数字で可視化できた

問 このことを踏まえ、子育て支援の上で新たな施策として検討しなければならぬことについて、どう考えているか。

答 (町長) 子どもの貧困対策に即効薬はなく、長期的できめ細やかな対応が必要であり、町として英語教育やながす寺小屋学習塾など教育支援を柱として、対策を講じていく。

問 この調査から学校生活において改善が必要と思われることは何か。

答 (教育長) 分析結果から学校では、家庭での基本的な生活習慣の向上、感情や情緒を育み心を豊かにし、道徳的な意識

や価値観を養う情操教育、自己肯定感を高める教育に取り組んでいる。

問 この集計分析は熊本県立大学でされたと思うが、その先生

をお招きして講演会を行うことができるか。

答 (子育て支援課長) 今の要請を受け、もし先生の時間がとれるようなら、話をさせていただく。

LGBTの問題をどう捉えているか

答 学校現場では柔軟に対応する

問 調査のなかで性別に丸をつける質問があるが、答えたくないという子どもが1.7%いる。LGBTを意識して質問をつくったと考えるが、この問題はどう捉えているか。

答 (学校教育課長) 体と心の性が一致せず、違和感を持つ人がある。学校では制服

問 中学の標準服だが女子はセーラー服でスカートになるが、このままでよいのか。

答 (教育長) 女子がどうしてもスカートをはけないという状況が出てきた時

LGBTについて

性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われ、Lesbian(女性の同性愛者)Gay(男性の同性愛者)Bisexual(両性愛者)Transgender(体の性と心の性が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人の頭文字を使っています。

には、保護者を交えながら子どもとの不利益にならないように解決していく。



竹本信次議員

地方創生5年間の取組みの成果や課題の検証を

答 各事業における評価シートを作成し評価・検証したい

問 人口減や雇用減を克服するために国の地方創生推進交付金で「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」を推進しているが、今年度が最終年度となる。この5年で、どのような成果があったか。

答 (町長) 本町は管内でも低い人口減少率であり、介護予防拠点の整備で要介護認定率が減少・教育の充実・産業支援や金魚と鯉の広場の交流人口の拡大等、各分野で成果が表れている。

問 地方創生で大事なものは「仕事」で、仕事がないと、いくら「地域が好き」な若者であっても、地域を離れざるを得ない。このことは前から分かっているが、多くの若者の意識も同じである。若者を呼び込む戦略的企業誘致の推進「しごと創生」の取り組みを、もっと推進すべきではなかったか。

問 外国人受け入れの新制度は本年4月から始まり、日本に永住が可能になり、家族も呼び寄せられることになる。今後も本町に在留する外国人が増加していくと考えられる中で、本町で働き、学び、生活する外国人材の受け入れ環境の整備をどう進めるか。

問 町が企業社宅を解体までし、若者定住促進事業として宮野地区地域優良賃貸住宅7棟(250戸)を建設したが、外国人労働者が入居している2棟(60戸)を含む従業員世帯220戸を企業に社宅として貸し出し、子育て若者世帯の募集は僅か30戸である。これが長洲町の地方創生

答 (町長) 建設段階から、企業社宅を解体することで、従業員を長洲町に残すことが本町の戦略の1つだと考えた。子育て世帯については、長洲町の各地域に新しい定住を進めるための住宅の提供を図ってきたい。



地方創生推進交付金で整備されたカフェテリア

答 (町長) 一次産業では第二腹赤地区圃場整備で、企業による農業参入の展開や企業が漁業への新規参入など水産業支援で、雇用を増やしたい。また、二次産業ではJMUや日立造船及び地元企業の雇用拡大に向け取り組みたい。

答 (町長) 現在、町内に外国人が約500人在住しているが、主に企業が雇用し住居や日本語教育など各種生活面の支援をしている。今後は各事業所と警察・消防等の行政機関及び地元との関係者と連携し、受け入れ体制の構築に向けて検討したい。

問 町が企業社宅を解体までし、若者定住促進事業として宮野地区地域優良賃貸住宅7棟(250戸)を建設したが、外国人労働者が入居している2棟(60戸)を含む従業員世帯220戸を企業に社宅として貸し出し、子育て若者世帯の募集は僅か30戸である。これが長洲町の地方創生

答 (町長) 建設段階から、企業社宅を解体することで、従業員を長洲町に残すことが本町の戦略の1つだと考えた。子育て世帯については、長洲町の各地域に新しい定住を進めるための住宅の提供を図ってきたい。



「レインボーみやの」が社宅向け賃貸住宅に



町の更なる発展を願って!!

問 一般国道389号が開通し、町中心市街地の交通混雑緩和、大型車通行規制区間の

解消、通学路の安全、又、近隣市町の事業発展が期待される場所であり、この道路は有



荒木睦子議員

国道389号の開通に伴い町の戦略は

答 観光資源を活用し広域的に事業展開を図る

明海に面しているため、観光としても十分考えることができるが、町の見解を伺う。

答 (町長) 対岸に雲仙普賢岳を望み、夕日のきれいなスポットだ。観光の一つとして、ウォーキングコースやサイクリングロードなど、荒尾市と連携して実施したいと考えている。

問 開通した道路の安全性を考えると、横断歩道の設置と、夜間の道路を照らすライトの設置も必要と思うが伺う。

答 (建設課長) 熊本県が施工し整備している道路であるため、要望していく。荒尾市の蔵満地区に整備を進めてい

る「荒尾^{ひがた}干潟水鳥・湿地センター」は環境学習の活動拠点を目的として建設中であるが、長洲町と連携した環境教育の取り組みを伺う。

答 (教育長) 小学生の校外授業や中学生の社会科見学、又、野鳥観察など幅広く連携した取り組みを考えている。

問 荒尾長洲地域資源活用推進協議会が設立されたが、その内容を伺う。

答 (まちづくり課長) 地域資源である荒尾の干潟や長洲の金魚など、そういうものの魅力を効果的に発信し、地域の周遊性を高め、交流人口を増やす目的に立ち上げたものである。



豊かな自然環境の拠点としてスタート!!

問 道路の開通に伴い、住民の命と暮らしを守り、地域活性化に期すること、そして、魅力のあるまちづくりを前向きに検討すべきであると考えているが。

答 (町長) 観光や健康、そして教育、こういうのが長洲町に大きな豊かさをもたらすように頑張っていく。

町民のひろば

町民の声

山本 孝範さん（向野区）

NDF（ながす減災応急手当救命会）とは？長洲町内外の防災士や防災に興味関心がある町民を中心に、2015年4月1日に20～70代の男女で結成された「自主防災ボランティア団体」です。（活動）

- (1) 防災に関する意識の普及・啓発に関すること。
- (2) 自主防災組織の編成及び任務分担に関すること。
- (3) 防災訓練実施に関すること等。

本年は女性防災士3名の方が新たに仲間入りし、活動中！



傍聴席から一言

濱田 あけみさん（出町区）

議会を傍聴するのは2回目となりますが、初めての時は、どんな雰囲気なのだろうと緊張とドキドキで扉を開けたのを覚えています。

議場では、その場の空気が、ピーンと、張り詰めた感じの中で質疑応答が繰り返され、私の方も緊張して聞き入っていました。常に町の色々なことに目を配り勉強されてるんだなと思いました。

住みよい町になるよう期待します!!



ひとこと

「お早うございます。」

子どもたちが笑顔で通学路を歩いて来る。大きなランドセルを背負い、手にもいっぱい入った手提げバッグを持っている。私が交通指導をしている交差点での毎朝の光景である。

子どもたちは、横断歩道の前で一列に並び、「確認、右、左。」と確認して渡る。止まってくれた車に向かって大きな声で、「ありがとうございました。」頭を下げ、学校に向かって行く。

この子どもたちの元気な姿から私も元気を貰う。

この交差点は、朝の通学、通勤の時間帯には、車両や

自転車等の通行量が非常に多い。しかし、歩行者の待機場場はない。歩道もない。もちろん、信号もない。近年、登下校中の子どもたちが車にはねられる事故も起きている。胸が痛む。事故がないように対策の必要を切に感じる。（濱村）

広報委員

委員長 濱村 芳光

副委員長 前田美和子

委員 中川 雅明

委員 大森 秀久

委員 荒木 睦子

委員 磯野 博

委員 福永 栄助

発行責任者

議長 徳永 徳昭

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は

9月9日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです